



## 霞 城 コ ン パ ス

進路情報 第12号 令和元年11月26日発行

卒業予定者の合格・内定状況をお知らせします。昨年度に比べると全体的に苦戦しています。具体的には、下記の表をご覧ください。全員の進路希望を実現するまで、頑張りましょう。また、センター試験や大学一般入試受験者については、これからが本番です。体調に気をつけて、万全の体制で臨みましょう。

### ■ 令和2年3月卒業予定者の進路希望・合格状況

11月25日現在

|       | I 部 | II 部 | III 部 | 合計     | 合格・内定  |
|-------|-----|------|-------|--------|--------|
| 4年制大学 | 2   | 1    | 1     | 4<9>   | 2(3)   |
| 短期大学  | 0   | 1    | 0     | 1<3>   | 1(3)   |
| 専門学校  | 7   | 1    | 1     | 9<11>  | 7(8)   |
| 就 職   | 9   | 14   | 5     | 28<35> | 19(28) |
| そ の 他 | 5   | 0    | 0     | 5<0>   | —(0)   |
| 合 計   | 23  | 17   | 7     | 47<58> | 29(42) |

※ ( ) 内は昨年度11月22日現在実績。< >は昨年度数。

※ 大学入試センター試験出願者2名(昨年8名)

### ■ 「やまがたのスペシャリストに聞くトップセミナー」が行われました。



11月14日、昨年度に引き続き今年度の講師として、(株)テレビユー山形アナウンサー 結城晃一郎 氏 をお招きしトップセミナーが行われました。「高校生に伝えたいこと」という演題で、最初はテレビの世界についてお話いただきました。次にアナウンサーの仕事は、華やかだが、実は周りの方々の色々な仕事を経て成り立っている物だとわかりやすくお話いただきました。また、具体的に「教科書」を題材にして、どのような人が携わり生徒の手元に届いているのかということや、便利になっているスマートフォンではあるが、使い方を間違えて情報を発信することの危険性などをお話いただきました。本校生徒のために、とても為になるお話しいただいた結城アナウンサーに感謝いたします。

### ■ これからの進路の日程に注目！！

#### ● 全員対象

#### <第2回の進路ガイダンス>

12月10日(火)に進路ガイダンスが行われます。第1回目につき全校生徒が7・8校時の時間で一斉に行います。7校時は芸人によるガイダンス、8校時は進路別ガイダンスとなります。生徒が自ら学ぶガイダンスになれば幸いです。

●令和2年度卒業予定の就職希望者向け

<冬期就職セミナー>

12月25日(水)・26日(木)に来年卒業予定の就職セミナーが行われます。桑名先生を講師にこれから就職活動をする上で大切なことを中心にお話いただきます。時間は、13:00から17:00となっています。ただ、年末年始休業期間になりますので、対象の人はアルバイトや用事を入れないようにしてください。

※進路実現のためには、早めの対策が必要です。積極的に取り組んでください。

●進学希望者向け

<高1・2対象 進学セミナー(冬期)>

対象者：大学・短大・医療系看護専門学校への進学希望者

場所：視聴覚室

高1・2年次生は12月25日(水)の11:00~12:00

担任の先生から詳しい案内を配布されると思いますが、進学者向けの進学セミナーを企画いたしました。講師は、桑名 暢 先生で高1・2年次生と一緒にやる予定です。冬休みという事ですが、早い段階で予定を入れてアルバイトなどを調整して参加できるように準備してください。

<高1・2冬期講習>

12月25日(水)~27日(金)の平日3日間、夏休みと同様に進学者向けの冬期講習が行われます。希望の学校に進学するためには、地道な努力が必要です。夏休み同様、万全の体制でアルバイトや用事を入れないで準備してください。

◎就職内定・大学短大専門学校等合格者へ

当たり前のことですが、「卒業」すること。内定や合格はゴールではありません。この後、気がゆるん

で授業を欠課する、定期テストも成績が落ちれば、せっかく内定した企業や合格した学校を裏切ることにな

ってしまいます。また、卒業できなくなってしまったということは絶対に許されません。

特に考えて欲しいのは、大学に合格しても相当の学力がなければ入学した後に単位が修得できない事になり

ます。そうならないためにも、これまでの学習を続けていくくらいの気持ちを持っていただきたいと思います。

「有終の美」といいますが、終わりをきっちり締めることは必ずよい未来につながるのです。